



GIFT

株式会社ギフトHD 証券コード9279

## 会社説明資料

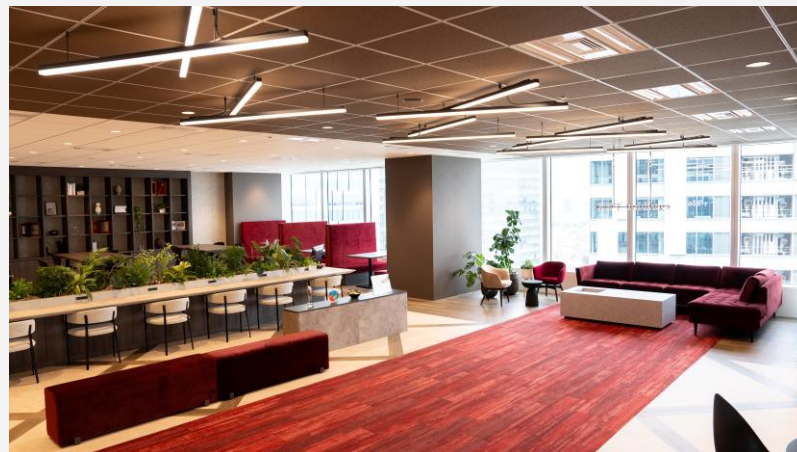


本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おください。

# — 会社概要

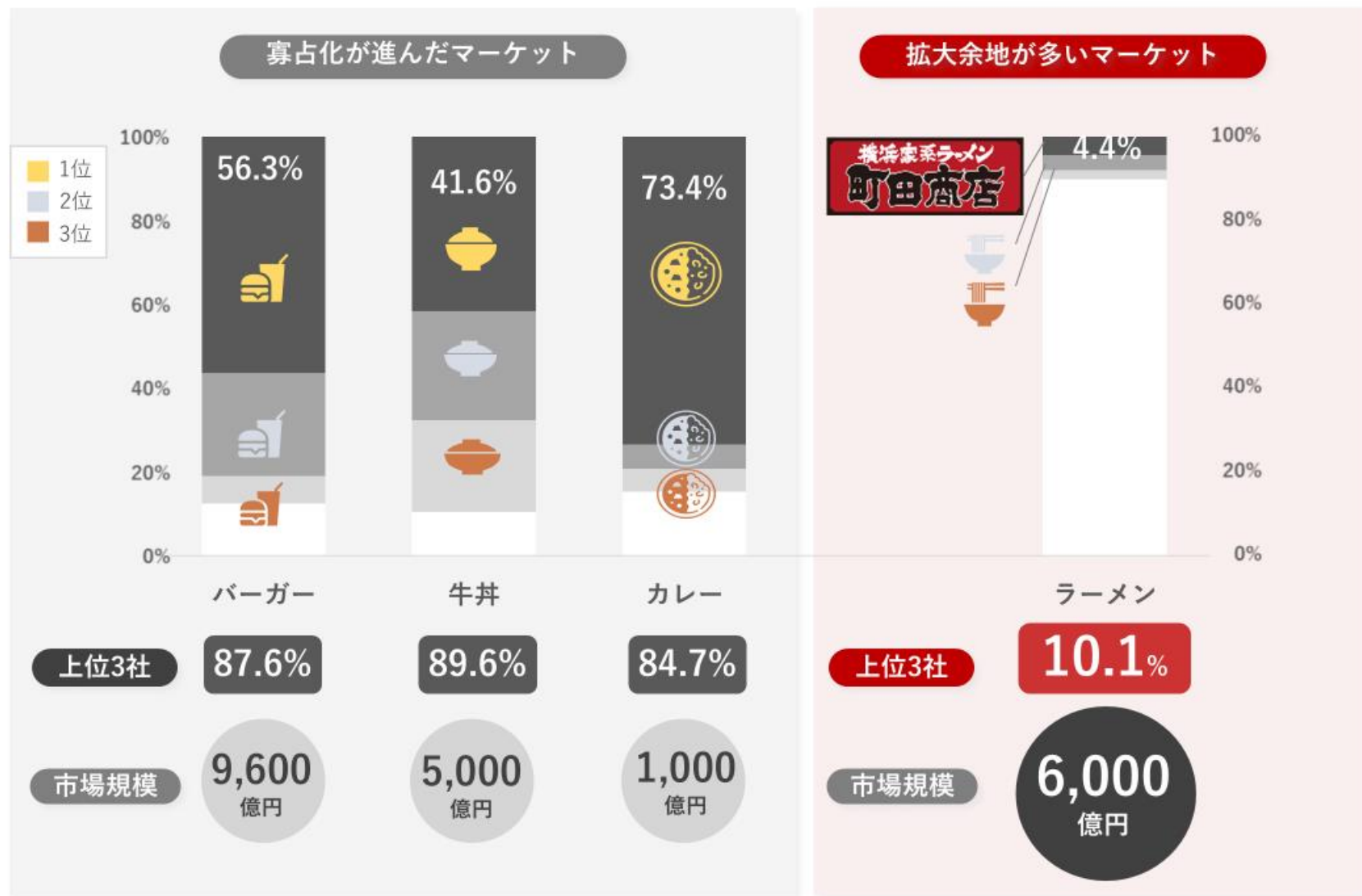


<b>社名</b>	株式会社ギフトホールディングス
<b>事業内容</b>	飲食店の経営
<b>本社所在地</b>	東京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージSHIBUYAタワー36階
<b>自社工場</b>	製麺工場：平塚、横浜第一、神栖、丹波篠山 チャーシュー工場：綾瀬 スープ工場：横浜第二
<b>設立</b>	2009年12月7日 (創業 2008年1月)
<b>代表者</b>	代表取締役社長 田川 翔
<b>決算期</b>	10月
<b>資本金</b>	825百万円 (2024年10月末現在)
<b>グループ従業員</b>	社員643名 パート・アルバイト 5,596名 (2024年10月末現在)
<b>関係会社</b>	連結子会社14社  (主な連結子会社の名称) 株式会社ギフト 株式会社ラーメン天華 株式会社ギフトフードマテリアル GIFT USA INC.



# ■ 主な外食産業と国内ラーメン市場の特徴

大手チェーンへの集約が顕著にみられるバーガー、牛丼、カレーなどと異なり、ラーメン市場は個人店のシェアが高く、チェーン店のシェア拡大の余地が多いマーケットといえる。





## ブランド一覧 (1/2)



### 町田商店 家系

何度食べても飽きないクリーミーなスープが特徴の“家系ラーメン”  
活気のある超絶空間で全国に100店舗以上展開中の人気店。



### 豚山 ガッツリ系

肉厚でやわからいぶた肉とたっぷりの野菜が特徴の“ガッツリ系  
ラーメン” 力強いスープに甘味のある醤油ダレと“わしわし”麺で食  
べ応え満点！



### 元祖油堂 油そば

こだわりの専用麺と卓上调味料でカスタマイズする自分だけの“油  
そば” オシャレな雰囲気の内店が女性にも人気で、味のアレンジは  
無限大！



### がっとうん 九州豚骨

長時間炊き込み熟成させたスープが特徴の“九州豚骨ラーメン” 濃  
厚で深みのあるスープとの相性を追求した特注極細麺は至高の味。



### 四天王 醤油豚骨

海外からのビジターにも大人気。  
あっさりしたコクが特徴の“豚骨ラーメン”。

## ブランド一覧 (2/2)



### 長岡食堂

中華そば

新潟県長岡市のご当地ラーメンとして親しまれている生姜醤油の“中華そば” 厳選した食材を使用した淡麗なスープは味わい深く、老若男女に人気。



### 赤みそ家

味噌

味噌をベースに炒めた野菜の旨味たっぷりの“味噌ラーメン”。



E. A. K. RAMEN

海外



### E.A.K. RAMEN

家系

“家系ラーメン”をベースにローカルニーズに合わせた味でご提供。



海外



### Machida Shoten

家系

長時間炊き込み熟成させたスープが特徴の“九州豚骨ラーメン” 濃厚で深みのあるスープとの相性を追求した特注極細麺は至高の味。

# 事業内容



直営店とプロデュース店  
2つのチャネル形態にて飲食事業を展開

## 直営店

236店舗 ※業務委託店含む

様々なジャンルの  
直営店舗の運営



## プロデュース店

574店舗 ※FC店含む

オーナー様の要望に合わせた  
繁盛店づくりのサポート

直営店

運営ノウハウ  
の提供

自社工場  
委託工場

PB商品の供給

プロデュース店



※PB商品：  
プライベートブランド商品  
(麺、タレ、スープ、餃子、チャーシュー)

# どの立地でも繁盛店



駅近

ロードサイド

繁華街・ビジネス街

住宅街



C社



—

—

H社



—

—

M社

—

—



K社

—

—



駅近＋ロードサイドの両エリアで、繁盛店運営が可能

## 駅近エリア

### 繁華街

池袋商店



渋谷店



### 住宅街

綱島商店



経堂店



### ビジネス街

四谷商店



水道橋店



## ロードサイドエリア

### ロードサイド

清水インター店



仲町台店



京都東インター店



姫路店



富士宮店





# — ロードサイド店舗について



ファミリー層にも評判のロードサイド店舗

- 駐車場（20台～30台）
- 競合状況、商圈人口、交通量等の分析結果をもとに出店
- 家族が楽しめる店舗づくり
- ファミリー向けメニューの充実化
- 来客単価増加基調を維持
- ロードサイド店は駅近店を上回る繁盛店

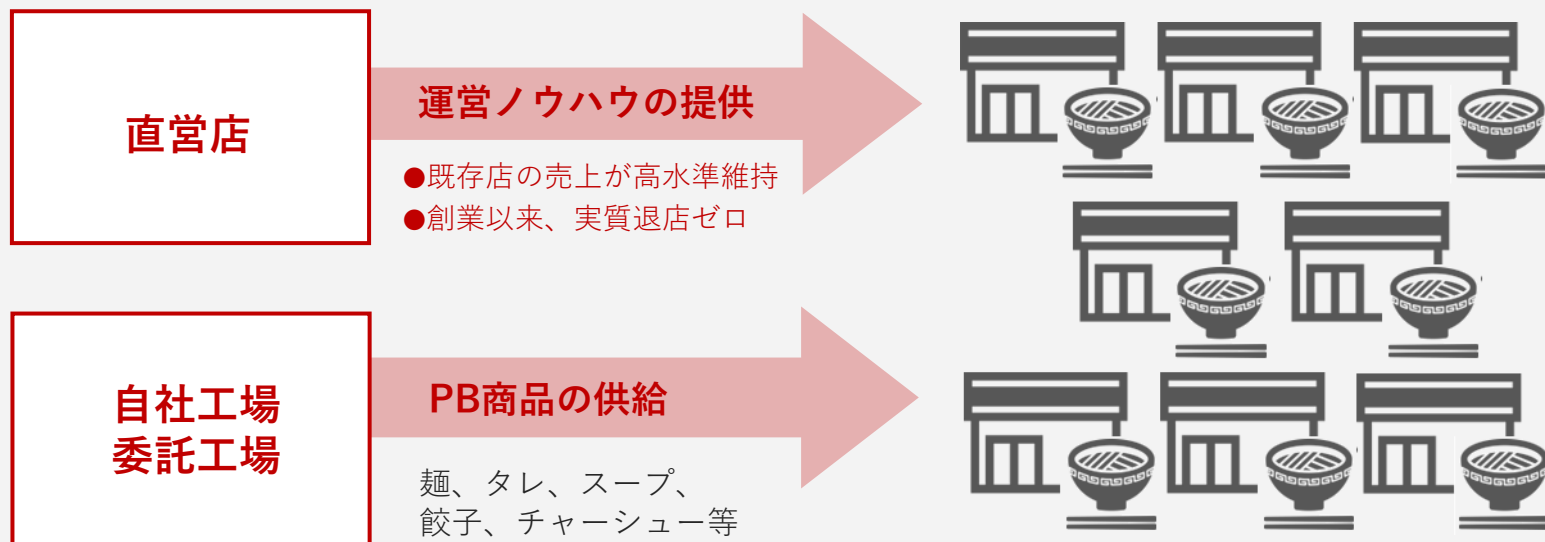


# プロデュース事業



<当社独自のチャネル>プロデュース店の運営スキーム

## オーナー様の要望に合わせた繁盛店づくりのサポート



※フランチャイズ制度と異なり、保証金、加盟料、経営指導料（ロイヤリティ）不要。直営店の運営ノウハウをもとに、店舗立ち上げ時のプロデュースを、食材の購入を条件に原則無償で提供。

## プロデュース店とフランチャイズ店の違い



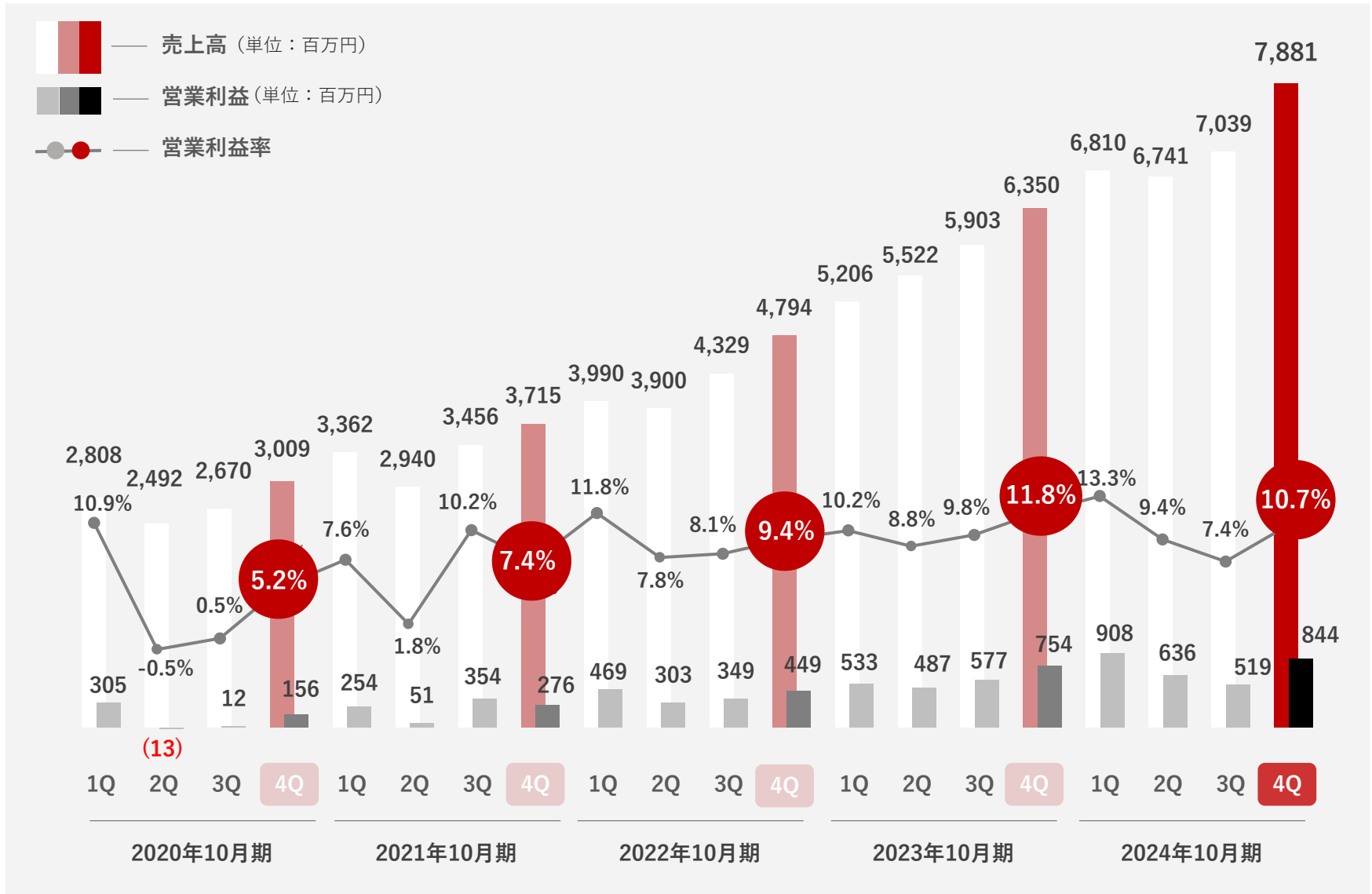
	フランチャイズ店	プロデュース店
屋号	同一	フリー
加盟金	100万円～500万円	0 円
ロイヤリティ	月売上の約5%	0 円
店舗運営・メニュー開発の自由度	×	○
加盟店によりブランドが毀損した場合の全体波及リスク	大	小
各種サポート※	あり	あり

※各種サポート…物件開発、店舗設計、社員研修、オープンサポート

2023年10月期			2024年10月期			計画比	
(単位：百万円)	金額	売上比率	金額	売上比率	前年同期比	上方修正後 通期計画	達成率
売 上 高	22,982	-	28,472	-	+23.9%	28,500	99.9%
売上原価	7,409	32.2%	9,145	32.1%	+23.4%	-	-
売 上 総 利 益	15,572	67.8%	19,327	67.9%	+24.1%	-	-
販 管 費	13,220	57.5%	16,417	57.7%	+24.2%	-	-
営 業 利 益	2,352	10.2%	2,909	10.2%	+23.7%	3,000	97.0%
経 常 利 益	2,424	10.5%	2,972	10.4%	+22.6%	3,060	97.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,597	6.9%	1,875	6.6%	+17.4%	1,960	95.7%



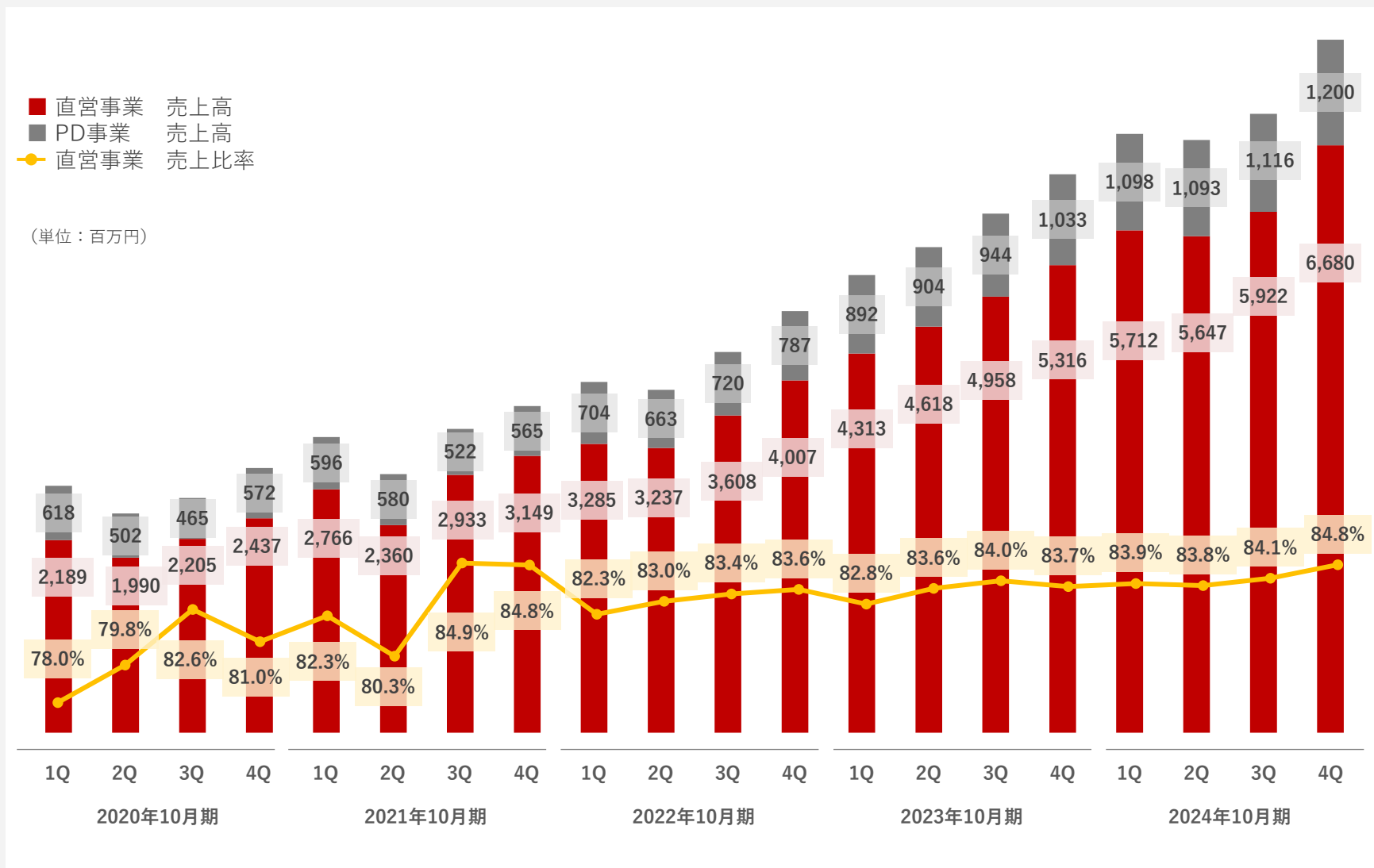
# 売上高及び営業利益 四半期推移



# — 直営事業、PD事業の売上高四半期推移



直営事業の売上比率が上昇している。



# — その他 四半期推移



		2022年10月期				2023年10月期				2024年10月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
店舗数 (店)	全体	634	652	664	682	709	730	741	745	755	773	797	810
	国内直営	143	147	156	159	165	174	181	185	190	197	209	223
	海外直営	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4
	業務委託	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9
	プロデュース・FC	478	492	496	511	532	544	548	548	553	564	576	574
売上原価率 (%)		29.3	30.1	30.7	31.3	31.8	32.4	32.6	32.1	32.5	32.0	32.5	31.6
人件費率 (%)		27.0	27.5	28.3	26.5	25.8	26.6	27.6	25.8	25.8	27.1	27.6	26.7
販管費率 (%)		58.9	62.1	61.2	59.3	57.9	58.8	57.6	56.0	54.2	58.6	60.2	57.6

# 出店状況



出店を継続し、  
前期末比+65店舗



2023年10月期末      2024年10月期

プロデュース店    538店舗    >>>    554店舗

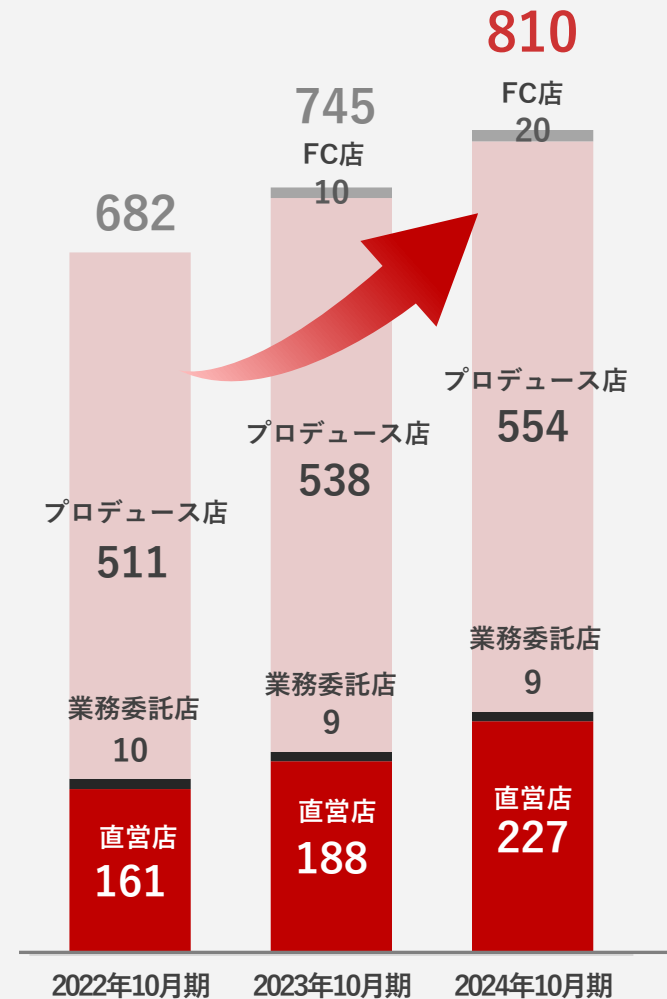
FC店                    10店舗    >>>    20店舗

業務委託店            9店舗    >>>    9店舗

直営店                188店舗    >>>    227店舗

---

全店舗  
合計                    745店舗    >>>    810店舗





# — 店舗の状況（増減内訳）

		23年10月期 店舗数	24年10月期 店舗数	増 減
(単位：店)				
直営店事業	関東	119	147	+ 28
	東日本（関東以外）	45	54	+ 9
	西日本	21	22	+1
	海外	3	4	+1
	小計	188	227	+ 39
売上高	業務委託店	9	9	—
	合計	197	236	+ 39
プロデュース事業	関東	309	311	+ 2
	東日本（関東以外）	117	119	+ 2
	西日本	99	110	+11
	海外	13	14	+ 1
	小計	538	554	+ 16
売上高	国内FC店	7	11	+ 4
	海外FC店	3	9	+ 6
	合計	548	574	+ 26
店舗数総合計		745	810	+ 65

23,962  
百万円

4,510  
百万円

# — 店舗の状況（直営店+FC店 ブランド別増減内訳）

※2024年10月期第3四半期より店舗数にFC店舗数も追加しています。



ブランド					
店舗数	153	39	20	6	4
前期末比増減	+22	+6	+10	—	—

ブランド	 長岡食堂		 E. A. K. RAMEN	 海外 MACHIDA SHOTEN JAPANESE RAMEN	その他
店舗数	2	1	3	10	9
前期末比増減	—	—	—	+7	+4



(単位：百万円)	2023年 10月期	2024年 10月期	増減額	(単位：百万円)	2023年 10月期	2024年 10月期	増減額
<b>流動資産</b>	<b>3,552</b>	<b>4,368</b>	<b>+815</b>	<b>流動負債</b>	<b>3,777</b>	<b>5,356</b>	<b>+1,579</b>
現金・預金	2,220	2,442	+222	買掛金	697	931	+233
売掛金	547	714	+167	短期借入金	25	14	△10
その他	784	1,211	+426	一年内長期借入金	699	1,198	+498
<b>固定資産</b>	<b>8,974</b>	<b>12,731</b>	<b>+3,756</b>	その他	2,354	3,212	+857
有形固定資産	6,007	9,450	+3,443	<b>固定負債</b>	<b>1,977</b>	<b>3,365</b>	<b>+1,387</b>
無形固定資産	271	236	△34	長期借入金	1,574	2,786	+1,211
投資その他資産	2,696	3,044	+347	その他	402	578	+175
<b>資産合計</b>	<b>12,527</b>	<b>17,099</b>	<b>+4,572</b>	<b>負債合計</b>	<b>5,755</b>	<b>8,722</b>	<b>+2,966</b>
				<b>純資産合計</b>	<b>6,772</b>	<b>8,377</b>	<b>+1,605</b>
				資本金	797	824	+27
				資本剰余金	1,049	1,052	+3
				利益剰余金	4,761	6,278	+1,516
				自己株式	△0	△1	△0
				その他包括利益累計	160	217	+57
				非支配株主持分	4	5	+0
				<b>負債純資産合計</b>	<b>12,527</b>	<b>17,099</b>	<b>+4,572</b>

(単位：百万円)	2023年10月期	2024年10月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,534	3,276	+ 741
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,956	△ 4,338	△ 1,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	252	1,315	+ 1,062
現金および現金同等物に係る換算差額	17	15	△ 1
現金および現金同等物の期末残高	1,855	2,123	+ 267

## 2024年 10月期 主な内容

### ■営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益： 2,735百万円  
減価償却費： 813百万円  
法人税等の支払額： △708百万円

### ■投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出： △4,064百万円  
敷金及び保証金の差入による支出： △340百万円

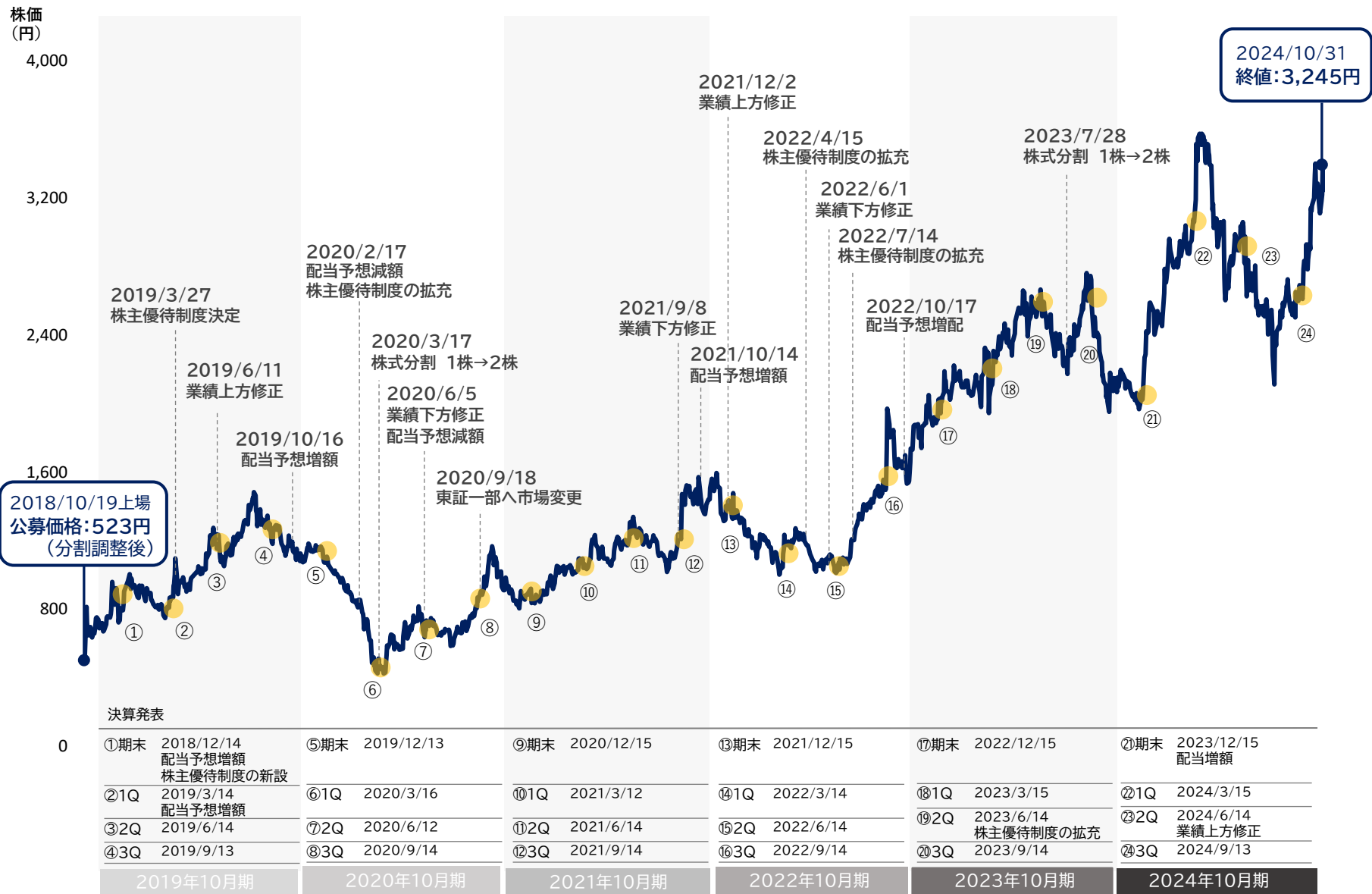
### ■財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増減額： △12百万円  
長期借入による収入： 2,520百万円  
長期借入金の返済による支出： △809百万円  
配当金の支払額： △358百万円



# 株価推移 (上場～2024/10/31)

株価は上場時から約6倍の水準まで上昇



# — JPX 日経中小型株指数



「JPX 日経中小型株指数」の 2024 年度（2024 年 8 月 30 日から2025 年 8 月 28 日）構成銘柄へ選定

2024年度  
構成銘柄  
へ選定



**JPX-NIKKEI Mid Small**

## 「JPX 日経中小型株指数」

「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とする「JPX日経インデックス 400」と同じコンセプトを中小型株に適用し、資本の効率的活用や投資者を意識した経営を行っている企業 200 社で構成する株価指数

# IRサイト、QA Station、IRニュース配信サービスのご案内

## IRサイト

IRサイトでは、株主・投資家の皆様へ向け積極的に情報を発信しております。



<https://www.gift-group.co.jp/ir/>

## QA Station

QA Stationページでは、当社への理解を深めていただくためのQ&Aを随時お届けします。



<https://www.qastation.jp/e419d09fa09c42148b827f596378610a?v=8c8bbb6b9f9a45dfaa7b1413d89e86d9>

## IRニュース配信サービス

IRニュース配信サービスでは、ご登録いただいた方に、メールでIR情報を配信いたします。



<https://www.magicalir.net/9279/mail/index.php>

## 将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。